

地域おこし協力隊通信 (No. 16) 種子島の美しさを知るアメリカ人女性

中種子町に5年間住んでいて、外国人の女性がいいます。エミリー・ローズ・アイズマンさん(27)。ニューヨーク出身のアメリカ人ですが、生まれはなんと東京都杉並区。その理由を「どうして?」と聞こうか「WHY?」と聞こうかで迷っているのと流ちょうな日本語で答えてくれました。



笑顔で答えるエミリーさん

ご両親が黒澤明監督の世界観、三船敏郎が演じるワイルドなヒーロー像に衝撃を受け、日本文化にとっても興味を持つたようで、バブル期の日本へ移住。英語教師をしながらたくさん日本人や日本文化に触れ、合気道や居合道などを習得したそうです。「居合道って何?」と聞けず、帰って調べました(…)

エミリーさんはその滞在期間に産まれた子どもで、2歳まで日本で暮らしたそうです。帰国後も、日本人形や絵、飾り物に囲まれた環境で育った影響もあり、常に日本を身近に感

じ、いつかは日本に「帰りたい」と思っていたそうです。「行ってみよう!」じゃなく「帰りたい」です!。アメリカで進学した大学では日本語を専攻し、一年間の日本留学を経て種子島へ現在は中種子町で英語を教える、外国語指導助手(ALT)をしています。



2歳の頃母親と補習にて

そんな彼女が11月、一等賞を取りました。その受賞は、県知事から表彰されニュースになり、新聞にも掲載されました。

受賞したのは『外国人による鹿児島島の魅力動画コンテスト』での最優秀賞です。その名の通り魅力ある動画で、種子島の素敵がたっぷりと凝縮されています。動画を観ていただければわかりますが、5年が経っても新鮮な気持ちが変わらずに、異国の島の暮らしや文化を感じ、優しく見つめているのが伝わってきます。ぜひご覧になってください。(松田) ※受賞動画は、YouTubeで『The Beauty of Tanegashima』と検索するとご覧になれます。

永年勤続などを表彰

民生委員・児童委員表彰伝達式

民生委員・児童委員の方への表彰伝達式が、12月8日に町長室であり、表彰を受けた2人の委員は、民生委員・児童委員の職務への気持ちを新たにいたしました。

○鹿児島県地域福祉推進大会「社会福祉功労者に対する県知事賞」泰原俊隆氏

○民生委員制度創設百周年記念鹿児島県民生委員児童委員大会「永年勤続民生委員児童委員表彰」熊野トメ子氏・泰原俊隆氏



監査事務に精励

石堂嘉明氏へ総務大臣表彰



総務大臣表彰を受けた石堂嘉明氏(中央)

長年、町の監査委員として尽力された石堂嘉明氏への表彰伝達式が、12月19日に町長室でありました。

これは、平成29年が地方自治法施行70周年の節目にて総務省が多年監査事務に精励し、地方自治の発展に貢献された方に総務大臣表彰を行うものです。

なお、表彰の対象者は、地方自治法施行60周年以降に監査委員としての在職期間が10年以上の方です。